

関西芸術座
公演No.98

チンチン電車と 女学生

—一九四五年八月六日・ヒロシマ—

原作／堀川恵子・小笠原信之
脚色／山本雄史
演出／門田裕
(日本評論社刊)



上演にあたって

終戦から六十五年が経ちました。

関西芸術座では、近年「反応工程」「戦争童話集」「少年H」と、戦争をテーマにした作品を上演してきました。

二〇〇五年八月には「戦後六〇年目の夏」と銘打ち、「少年H」の東京公演をしました。それから五年。ますます戦争を知っている世代が、少なくなっています。

平和だからこそ「お芝居ができる」。「お芝居が観られる」のです。私たちには、演劇を通して「平和へのメッセージ」を、訴え続ける使命があると思っています。

旅公演でもよく行く、広島の子ンチン電車を、戦時中女学生たちが運転していたという事実を、初めて知りました。

お国のために、とチンチン電車に乗務し、被爆した女学生たち、戦争を風化させてはいけない、という想いを込めてこの作品で、全国巡演していきます。

この作品が、多くの方々に観て頂けることを、願っています。

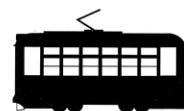
スタッフ

原作	堀川 恵子・小笠原 信之
脚色	山本 雄史
演出	門田 裕
装置	加藤 登美子
照明	福井 邦夫
音楽	ノノヤマ マナコ
音響	廣瀬 義昭
衣裳・小道具	坂本 真貴乃
宣伝イラスト	矢野 典男
方言指導	原 尚子 (ライターズカンパニー)
振付	香奈メイコ
舞台監督	辻村 孝厚
制作	柁木 年子

後援／広島電鉄株式会社

パンフレット 発行／柁木年子 編集／山川弘子・恒川愛子

2010年9月8日発行



ことば



私が中学一年の時のことです。夏休みに母に連れられて、当時広島に住んでいた母方の祖父母を訪ねました。母は久しぶりに両親に会ったので話が尽きないようですが、私のほうは慣れない場所、遊び相手もいずに、毎日所在なく過ごしていました。

何日かして、祖父がどこかへ連れて行ってやるというので、二人で出かけることになりました。正直、気の重いことでした。一緒に暮らしたことがなくてよく知らないうえに、祖父は寡黙で頑固そうで、とても人当たりがいいとはいえません。でも、どこにも行けずにいる私をかわいそうに思っていることでしょう。いやとは言えず、特に会話もなく、ただ祖父の後ろをついて行くしかありませんでした。

広島町なかへ出て、たぶんチンチン電車にも乗ったように思います。どこへ行くのかという問いさえ祖父にはできない、居心地の悪い雰囲気なかで、ようやく辿り着いたところが、原爆資料館でした。

四十二年前のことです。そして四十二年経った今も、そこで見た写真のいくつかは目に焼きついて消えることがありません。今思えば、あれが、私が初めて原爆というものに「触れた」時だったのです。堀川・小笠原両氏による原作を読みながら、そんな昔を思い出していました。

今回のこのお芝居が、わずかでも、若い人たちの原爆に「触れる」きっかけになれば、そして戦争というものを考えるきっかけになればと願っています。

昔、我が家の近く、国道二号線の阪神間をチンチン電車が走っていました。小さい頃、乗車するたびに運転席の後ろにへばり付き、男性運転手の操縦する姿を憧れの目で見つめ、切符を切ってくれる制服姿の女性の車掌さんをうつとりと眺めていました。チンチン電車はがたがたと揺れながら、ゆっくりと走っていました。しかし高度成長と共に交通量も増え、やがて阪神間を走るチンチン電車の姿は消えてしまいました。

広島に行く度に、今もなお縦横無尽に広島市内を走るチンチン電車に乗り、小さい頃の思い出にひたたりします。そして広島平和記念資料館に入ります。平和記念資料館はいつも原子爆弾という悪魔のような兵器の恐ろしさを訴え、そして平和の尊さを静かに語りかけてくれます。

一九四五年八月六日、原子爆弾が落とされたその日、広島市内を走るチンチン電車に女学生たちが乗務し、そして多くの女学生たちの命が奪われたという事実があります。

何故彼女たちはチンチン電車に乗務していたのでしょうか。

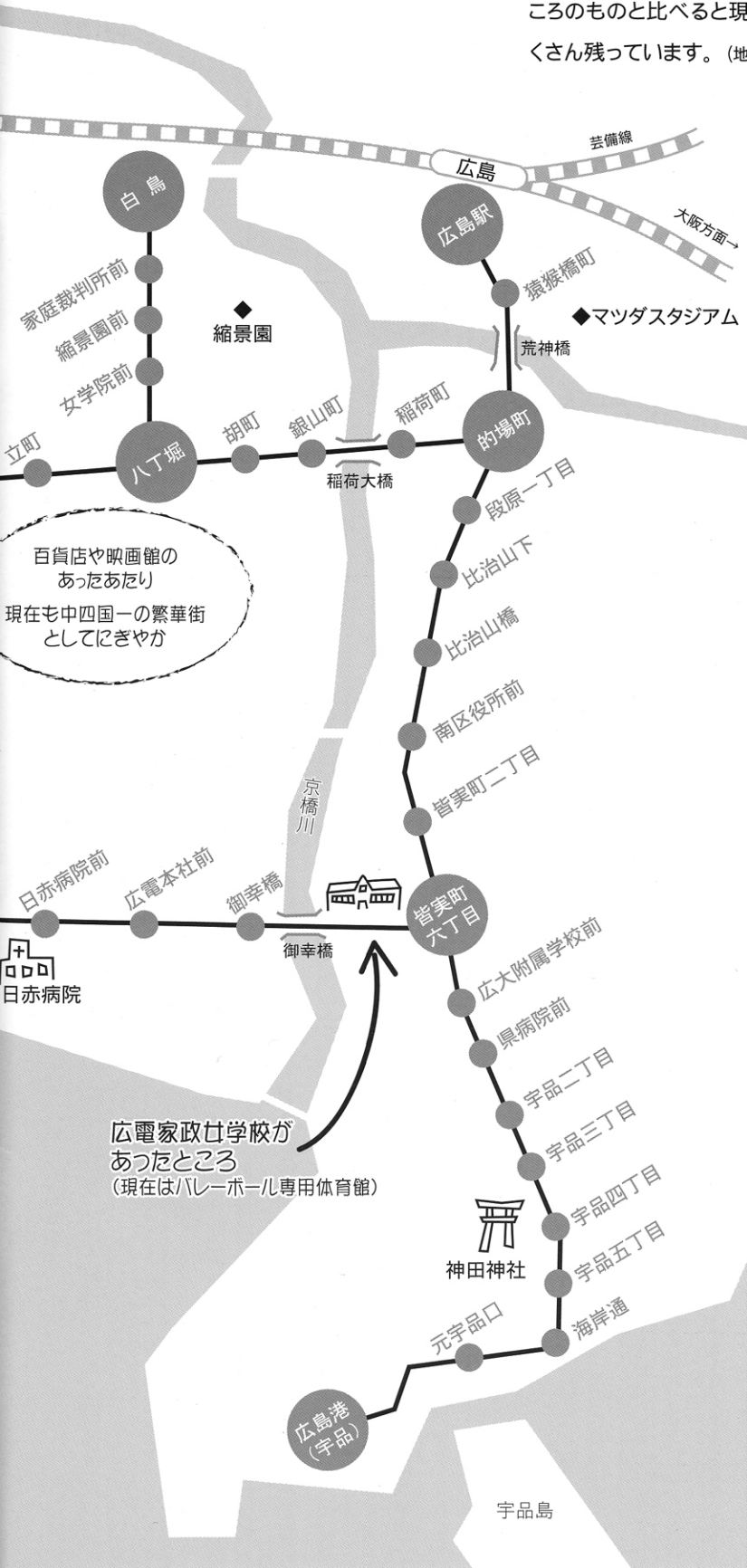
一九四一年、日本は太平洋戦争に突入し、戦況が悪化するにつれ男たちは次々と戦場へ駆り出されて行きました。そして変わって少女たちがチンチン電車を運転したのです。日本が戦争に勝つために。そして、八月六日の朝も、彼女たちはお国のためにと勇んで運転業務につきました。

原爆による広島市の死者は、約十四万人と推定されています。その中にはチンチン電車に乗務していた女学生たちも含まれています。人の死には様々な理由があります。しかし、戦争による死ほど理不尽なものはありません。広島、長崎においては、一瞬のうちに家族、友人、青春が破壊されました。戦争を知らない我々の世代には想像を絶する体験をされたと痛感しています。

この作品に関わるスタッフ・キャストは私も含めみんな戦争を知らない世代です。演劇に携わる者として我々がすべきことは、戦争を歴史の教科書に収めてしまおうのではなく、舞台を通じて戦争を語り続けることがひとつの使命だと思っています。広島で亡くなった女学生の方々のためにも……

物語とチンチン電車

これは現在の広島電鉄のチンチン電車の路線図です。女学生たちが活躍していたころの路線図は残念ながらほとんど残っていませんが、昭和30年ころのもの比べると現在の路線とほぼ同じです。駅名も同じところがたくさん残っています。(地図の縮尺や位置関係は厳密ではありません)



一九四三年広島電鉄が、学びながら、お給料がもらえる女学校として「広島電鉄家政女学校」を創設しました。戦争にとられた男手を補うために、女の子たちをチンチン電車に乗務させよう、というものでした。戦火が激しくなると、勉強どころではなく、車掌や運転手として毎日チンチン電車に乗務しました。

原爆が投下された一九四五年八月六日の朝、彼女たちはチンチン電車内で、そして宿舎で被爆しました。

しかし自らも負傷しながら、チンチン電車の復旧に力を尽くし、三日後の九日には、一部の電車は復旧しました。そして終戦を迎え、学校は閉鎖。彼女たちは、学ぶ場所も、働く場所も無くして、別れていきました。たった二年半だけ存在した、幻の女学校。

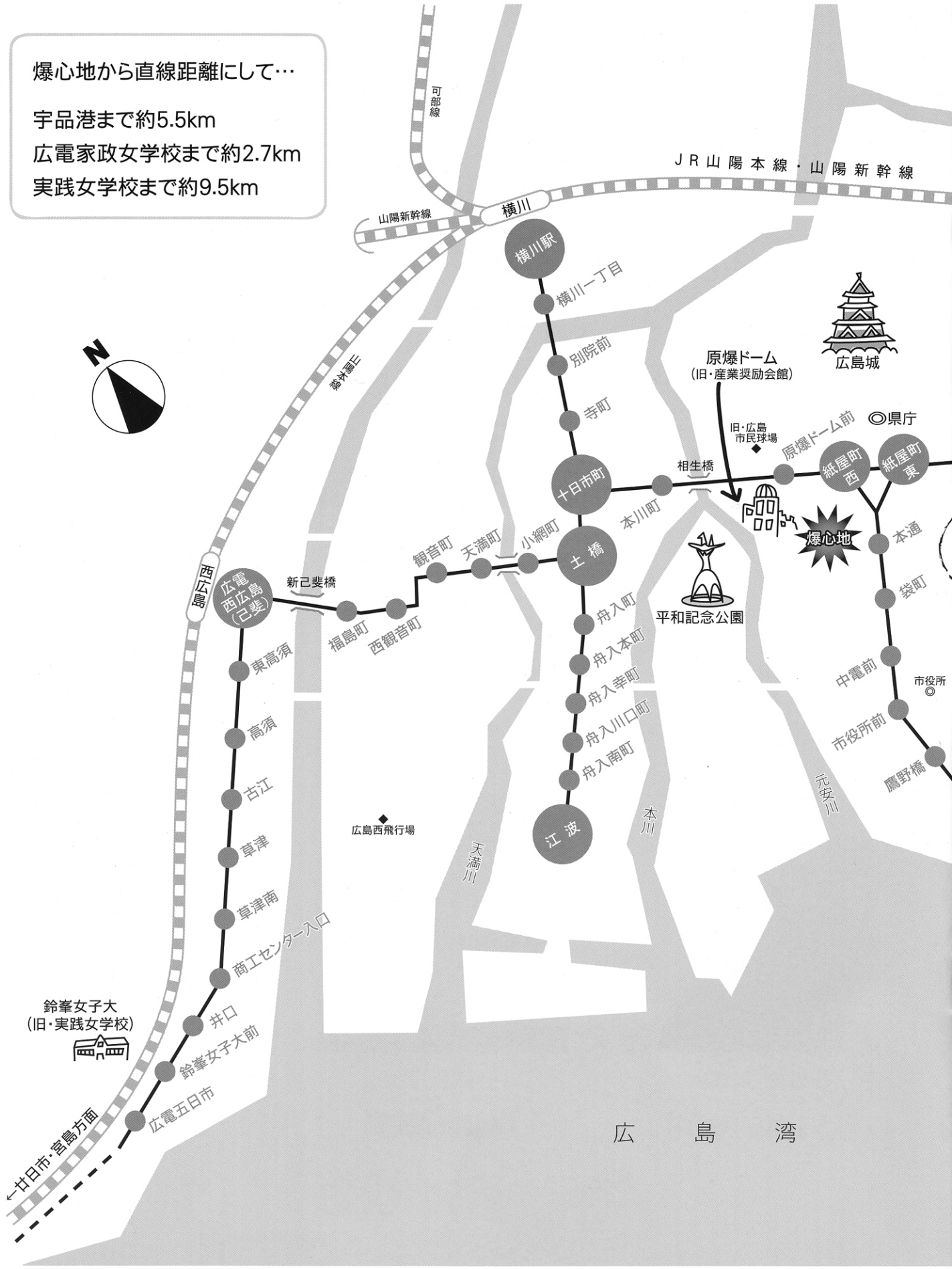
彼女たちはどんな思いで、チンチン電車に乗っていたのでしょうか……

爆心地から直線距離にして…

宇品港まで約5.5km

広電家政女学校まで約2.7km

実践女学校まで約9.5km



広島湾

関西芸術座

〒550-0012 大阪市西区立売堀3-8-4
TEL06(6539)1055代表 FAX06(6539)1056

<http://kangei.main.jp/>

関西芸術座附属演劇研究所 研究生募集

- 本科…1年（夜間）4月開講 <オーディション…毎年3月>
毎年12月に願書ができますので、劇団までお問い合わせ下さい。

